

水都苑

〒289-0313

千葉県香取市小見川676-2

TEL 0478-82-3388

FAX 0478-82-2481

第30号

会 社 法 人 国 寿 会
 社 会 福 祉 法 人 国 寿 会
 特 別 養 護 老 人 ホ ー ム イ ス
 シ ョ ー ト ス テ ー ビ ス 水 都 苑
 デ ィ ザ イ ン サ ー ビ ス
 居 宅 介 護 支 援 サ ー ビ ス
 ア ハ ウ ス

発行責任者 力根 秀 樹

特別養護老人ホーム増設に向けて

施設長 力根 秀 樹

平成二十一年一月に特別養護老人ホーム水都苑の施設長に就任し、試行錯誤しながら一〇ヶ月が過ぎました。これも偏に香取市並びに関係機関のご指導と、ボランティアをはじめ多くの地域の皆様からのご支援とご協力の賜と深く感謝申し上げます。

さて六月に発行しました広報二十九号では、今後の水都苑の課題や方向性について述べましたが、少しずつ具体化してまいりましたのでご報告いたします。まず特別養護老人ホーム(定員五十名)についてですが、現在特養への入所希望者が入所者数を遙かに上回っている状況を少しでも解消したいと考え、五月に行われた社会福祉法人国寿会の役員会にて特養三十床の増設を提案し了承を得ました。



建設予定地

介護施設の増設については千葉県高齢者福祉計画や香取市老人保健福祉計画においても、介護を要する高齢者の受け皿となる特別養護老人ホーム等の設備や増設に積極的に取り組む予定となっており、また今後三年間について新たな施設設備や増設に対しては県から交付される補助金が増額されることも期待されていることから、定期的に水都苑にとってはまたとない追い風が吹いていると思います。その後の九月の臨時役員会では増設のため設計事務所の選定や建設の財源の確保について協議し、承認されました。特養の増設工事は平成二十二年度中に着工し、平成二十三年四月に開設できるように準備を進めています。今後も特養が地域での介護拠点として、要介護者や家族の方が安心して生活が送ることができるよう施設サービスを実施させていく所存ですので、ご指導、ご鞭撻を承りますようお願い申し上げます。

秋桜花盛り



一〇月に入り、季節を色どるコスモスが満開となりました。市内でもコスモス祭りがあり、特養の入所者が四回に分かれて訪れ、一面に咲く花を楽しみました。デイサービスの皆さんは潮来市のコスモス園で花の摘取りをしました。四季それぞれを美しく色どる草花、時期を忘れず咲く花に自然の営みのすばらしさを感じます。

被害を未然に!

防災訓練

火災や地震、水害等に対する防災対策は福祉施設の大きな課題です。水都苑では入居者・利用者の避難訓練、職員の消火訓練及び夜間の通報訓練を年間五回に分けて行っています。台風の季節は過ぎつつありますが小見川の市街地は土地が低い

新任職員紹介

八月に入職しました。施設で仕事するのは初めてでまだわからない事ばかりですが、一日でも早く利用者の方や職員の方に迷惑をかけないようがんばりたいと思います。これからもご指導宜しく願います。

介護職
 荒張 洋子さん



介護職
 平野 一恵さん



高齢者施設での介護は経験がありませんが先輩方のご指導のもと、早く業務を覚え利用者の方々とコミュニケーションがとれるよう精進していきたいと思っております。よろしく願致します。

当苑のホームページができました。ご覧下さい。

<http://suitoen.jp>

編集後記

敬老会を行ったばかりと思っている内に十月に入り、一年のめぐりの早さを感じます。苑では各事業所ごとに季節の行事を取り入れ、入所者皆様の生活が単調にならないように努めています。次の行事の準備の時間に追われている感もありますが各事業所が協力して運営しています。

編集委員一同

デイサービス 祝百歳

おめでとー ございます



今年香取市では、十一名の方が百歳を迎えられるそうです。当デイサービスでも村尾庄太郎様が、一月に百歳を迎えらえるとの事で、長寿の秘訣を伺ってみました。



いつも穏やかで、静かにデイサービスでの時間を過ごされている村尾様。先日の運動会では、見事手を使わずに、「あんパン」を取ってゴールする姿が見られました。家庭では、毎日庭先の掃き掃除をしている、との事です。日々の生活を役割を持って過ごさ



産に水ヨーヨーを沢山釣り上げられている方もいらっしゃいました。

苑内の活動行事として、今年も七月十三日(十八日)に夏祭りを開催しました。利用者様が午睡から覚めた午後、祭りばやしの色々とともに、さあ夏祭りの始まりです。「かき水はいかがですか」「お好み焼きありますよ」と元気なスタッフの声とともに、利用者様もあっちへ行ったったりこっちらにきたり、ひ孫さんへのお土



ぶどう狩りに行って来ました



スタッフが焼いたお好み焼きは好評で「うん、うまいもう一枚」とおかわりをされる方も、喜んで頂けて、スタッフもうれしい気持ちでいっぱいです。最後は、皆で一緒に盆踊りです。歩ける方は輪の中に入り、車いすの方には手を動かして、大いに盛りあがった夏祭りの日々でした。

まだまだ残暑も厳しいお盆明けの午後、「ぶどう狩り」に行ってきました。行き先は栗源の平山ぶどう園、車に乗り込みいざ出発です。二〇分程で到着、ぶどう園のご主人と奥様が暖かく出迎えてくれました。中に入ると緑に囲まれ涼しい風が通り、心地良い空



気に包まれていました。見上げるとそこには大粒のぶどうが見事に実っており、利用者様の顔にも、思わず笑みがこぼれます。園内の白いテーブルに着いて、ご主人の出してくれた「ぶどうや、さつま芋や里芋」を皆で頂きました。甘くてみずみずしいぶどう、ホクホクとしたさつま芋や里芋はとっても美味しく、利用者様も一つ、もう一つとお皿に手が伸びていました。旬の味覚を十分に味わった後は、家族へのお土産を選んだり、歌好きのご主人が自慢の歌声を聴かせてくれたりと楽しいひと時を過ごすことができました。

